

# 日本簿記学会ニュース

No. 61:7 / 2016

## 《部会の経過報告》

第32回関西西部会は、平成28年5月21日(土)に桃山学院大学にて開催されました。詳しい内容は本誌部会記をご覧ください。また、第32回関東東部会は、平成28年6月18日(土)に横浜国立大学(準備委員長:原俊雄氏)を当番校として開催されました。

## 《全国大会のご案内》

第32回全国大会を下記の予定で開催いたします。

**厳しい暑さが予想されますので、軽装にてご参加いただきますよう、お願い申し上げます。**

会場:大阪経済大学

【2016年8月19日(金)】

学会賞審査委員会 12:30 ~ 14:00

理事会 15:30 ~ 18:00

【2016年8月20日(土)】

参加者受付 9:30 ~ 17:00(A館1階正面玄関)

高校簿記教育懇談会 10:00 ~ 11:30(A-33教室)

司会:加瀬きよ子(東京都立江東商業高等学校)

講演:柴健次(関西大学大学院教授)

『簿記会計教育における生徒と先生の認識のギャップ』

会員総会 12:30 ~ 13:20(フレアホール)

学会賞受賞講演 13:25 ~ 13:55(フレアホール)

統一論題報告 14:10 ~ 16:05(フレアホール)

論題:『複式簿記の適用領域の拡大—その機能と課題』

司会:高須教夫(兵庫県立大学)

戸田龍介(神奈川大学)「日本における農業簿記の研究—そこから得られる簿記学への知見—」

西田尚史(未来税務会計事務所)「農業分野における複式簿記活用等について—収獲基準と棚卸評価について—」

金子良太(國學院大学)「非営利組織会計における複式簿記の適用領域の拡大と課題—謝外国の事例も踏まえて—」

宮本幸平(神戸学院大学)「政府会計複式簿記の適用領域の拡大—その機能と現行基準の課題—」

研究部会報告 16:20 ~ 17:50(フレアホール)

司会:橋本武久(京都産業大学)

簿記教育研究部会部会長:工藤栄一郎(西南学院大学)

「簿記の学びの伝統と革新」

簿記実務研究部会部会長:飛田努(福岡大学)

「中小企業における業種別工業簿記・原価計算実務に関する研究」

簿記理論研究部会部会長:原俊雄(横浜国立大学)

「帳簿組織の研究」

懇親会 18:10 ~ 19:40(D館8階80周年記念ホール)

【2016年8月21日(日)】

参加者受付 8:45 ~ (A館1階正面玄関)

自由論題報告 9:00 ~ 11:05

第1会場(A-32教室)

司会:齊野純子(関西大学)

加藤大吾(早稲田大学)「簿記の総合問題の作り方と指導方法」

山根陽一(大阪経済法科大学)「初年次簿記科目における学習者の特性に関する関連性分析—学力指標と学習達成度の関連を中心として—」

司会:菅原智(関西学院大学)

川崎定昭(川崎公認会計士事務所)「複式簿記の自己検証機能にもとづく簿記教育の再構成」

中村恒彦(桃山学院大学)「簿記とイメージ—NHKオーディオドラマ『簿記の先生がうるさい』を題材にして—」

第2会場(A-41教室)

司会:辻川尚起(兵庫県立大学)

國廣好行(国広税務会計事務所)「ルフティー減価償却資金論の検討—」

西村昭一郎(龍谷大学大学院)「商品の評価・費用化と会計手続き」

司会:石原裕也(専修大学)

桑原正行(駒澤大学)「複式簿記の法的証拠性について—法人税法違反事件における被告法人の会計帳簿を例として—」

竹島貞治(金沢大学)「複式簿記の基本構造への一試論—事象理論に基づいて—」

第3会場(A-42教室)

司会:杉山晶子(東洋大学)

宮武記章(大阪経済大学)吉本圭一郎(日本文理大学)

「電力会社における廃炉の会計処理とその影響」

澤井康毅(帝京大学)「非支配株主にかかる株式売渡・買取請求の会計処理」

司会:安井一浩(神戸学院大学)

浅野千鶴(明治大学)「我が国への包括的収益認識基準の導入における諸問題」

鳥飼裕一(東洋大学)「会計測定と複式簿記」

統一論題討論 11:15 ~ 12:45(フレアホール)

座長:高須教夫

報告者:戸田龍介, 西田尚史, 金子良太, 宮本幸平

## 日本簿記学会第 32 回関西部会記

桃山学院大学 中村 恒彦  
 準備委員

日本簿記学会第 32 回関西部会は、平成 28 年 5 月 21 日(土)に、桃山学院大学にて開催された。本大会は、記念講演と自由論題報告の 2 部構成で進めることになった。参加者は 62 名であった。

第一部では、本学名誉教授の全在紋氏より「簿記と会計の言語論的關係」と題して、ご講演をいただいた。まず、司会の国土館大学の中野常男氏より、全氏の略歴紹介と研究業績の簡単な紹介があった。とくに、今回の講演は、最近の主著『会計の力』の中で簿記に関わるものであり、全氏が言語論の見地から簿記・会計を長年にわたって真摯に研究されてきた成果であることが示された。

全氏の講演内容は、主にフーコーの思想を援用して、人的勘定学説から物的勘定学説への変遷を検討するものであった。人的勘定学説は、勘定を人と人の関係として説明しようとするが、それは〈類似〉という中世・ルネッサンスのエピステーメーに立脚したものである。他方、物的勘定学説は、勘定を物と物との関係として説明しようとするが、それも〈比喩〉につながる近世のエピステーメーに立脚したものにすぎない。そのため、人的勘定学説から物的勘定学説への変遷に関する学界の通説は、後世のエピステーメーによる中世エピステーメーに対する批判(言い掛かり)にすぎない。ソシュールやフーコーらの意味関係説からすれば、〈類似〉も〈比喩〉も言語論的には《擬制》にすぎない。すなわち、通説(物的勘定学説)は自らも擬制(比喩)でありながら、人的勘定学説というもうひとつ別の擬制(類似)を啜る構図となっている。そうした問題提起がなされた。

第二部では、3つの自由論題報告が行われた。時間配分は報告 30 分、司会からのコメントおよびフロアからの質疑応答を 20 分とした。

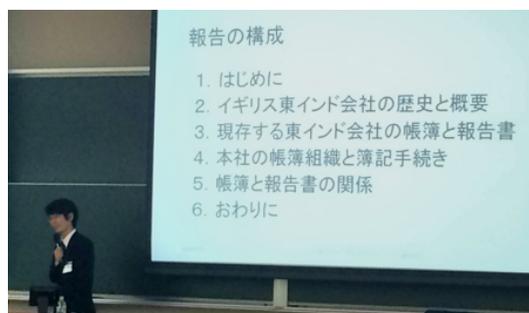
第一報告では、安井一浩氏(神戸学院大学)が、岩崎勇氏(九州大学)の司会のもとで「簿記と財務諸表との関係—前提としての定義に基づく考察—」と題する報告を行った。当該報告では、日本国内の法令および会計基準にもとづいて会計帳簿と財務諸表の定義し、その関係について考察がなされた。そ

の結果、会計帳簿の記述内容および財務諸表の記載内容の部分ごとに異なる事実を示され、分類がなされた。また、会計帳簿と連結財務諸表との関係についてもその特徴的な部分に考察がなされた。

第二報告では、岸保宏氏(株式会社マスタード・シード 22)が、島吉伸氏(近畿大学)の司会のもとで「農業簿記の記録—原価管理の実際—」と題する報告を行った。当該報告では、農業簿記における管理会計的な側面、とくに原価管理に焦点があてられた報告がなされた。まず、農業簿記の整理を行い、水稻を中心とした実際の農業法人を例にして、農業生産の原価管理表と、6 次産業化を行う農業法人の加工品の原価管理表から、検証を加えられた。普段、公開されない内部資料を通じ、その記録と整理がどのような役割を持ち、農業法人の関係者に対して、どのような効果をもたらしているのかが考察された。

第三報告では、杉田武志氏(大阪経済大学)が、島本克彦氏(大和大学)の司会のもとで「イギリス東インド会社における複式簿記と報告書—17 世紀後半と 18 世紀中葉を対象として—」と題する報告を行った。当該報告では、イギリス東インド会社(1600 - 1874 年)のうち、帳簿と報告書がともに現存している 17 世紀後半と 18 世紀中葉頃を対象として、帳簿と報告書との関係について論じられた。その結果、当時のイギリス東インド会社が帳簿における勘定残高を直接誘導して資本評価をしていないことが明らかにされた。

本部会では、新たな試みとして、3つの自由論題を設定するとともに、司会者兼コメンテーターという形で質疑応答に多くの時間を設定することとした。準備委員会では、司会者およびフロアの方から多くの質疑応答を得ることができ、有意義な時間となったのではないだろうかと考えている。



第三報告の杉田氏

## 私の初級簿記授業—思いつくままに

大 和 大 学 島 本 克 彦

私「買掛金は負債ですか。資産ですか。」

学生（どうして自分に指名するのかという顔をしながら）「わかりません。」

その学生の態度に問題があったので、学生が着席している付近に行き、テキストの下にスマホがあるのを発見する。そこで、

私「授業の始まる前にスマホはカバンにしまうように注意したでしょう。聞いていなかったの。すぐにしまいなさい。」

学生（ふてくされた顔をしながらしぶしぶスマホをしまう）「……………」

簿記の授業中や終了時、振り返りとして上述のような簡単な質問を学生に提示し確認している。回答を求める以外に学ぶ姿勢・態度や授業中の私語等について注意をしなければならない学生が増えてきている。このような注意を要しない学生でも、事前の説明を聞かず、平気で読めない数字を書いたり、カンマを上を打ったり、また試算表や元帳等を締め切る場合、見るに堪えない合計線や締め切線をフリーハンドで金額欄の下ではないところに引く学生も後を絶たない。授業内で練習問題を与え個別に提出の都度、問題の解き方とともにそのような形式的な面についても指導を行っている。確かに小・中・高等学校では、数字の書き方や線の引き方についてあまり注意されなくなっているようである。昔は算数や数学の授業で図形を指導する場合、数学の教員は黒板用の定規を持参して授業を行っていたが、今は見受けられなくなっている。簿記教員も同様である。コンピュータ時代ではこのような手書き特有のことは指導しなくてよいという意見もあるであろう。しかし、私は簿記の知識を伝授するだけでなく、態度や道徳的事象に対する「しつけ教育」も重要だと考え指導している。大学では高校と異なり、簿記の授業は大教室で行うことが多く指導しにくい面もあり、また知識の伝授だけでなくそれを理解・応用させる教育に重点がおかれることが多い。しかし、単なる知識以上に、学ぶ姿勢や態度に言及し指導すること

も黒板を背にする者の務めだと思って講義を行っている。

初級簿記の最初の講義では、簿記の歴史や資格検定・職業について説明している。最近、歴史的な説明や明治時代の簿記用具である簿記棒を提示しても、また資格や簿記を活用する職業の話をして興味を示す学生は非常に少なくなっているように思われる。

その後、商社会における売買業務、特に掛け取引と簿記上の売掛金・買掛金の意味を重点的に説明するが、理解できない学生が多く見られる。そのため「金」が付いているけれども債権・債務の意味であることを強調しつつ授業を進めている。続いて貸借対照表を説明する。最近では純資産の用語を用いるテキストが多く見受けられる。それゆえ資本等式を最初に提示する。簿記ではかつて宗教上マイナス記号を使わなかったことを理由に、負債を移項し、貸借対照表等式を用いて貸借対照表を説明している。資本を説明するのに、異論もあるが、明治期になされていたように資本主債務を表す負債の一種として初級簿記では説明している。そして損益計算書等式により損益計算書を説明する。資産、負債、資本、費用、収益の意味は、それぞれ科目例を提示し、それらに共通する事象を考えさせながら簡単に定義している。貸借対照表と損益計算書の関係については、いわゆる水槽の図を用いて説明しているが、その図において収益は資本の増加原因、費用はその減少原因を示すことも説明している。

高校・大学を問わず検定資格を取得させることだけを考える教員も見受けられる。しかし私はそれだけを簿記教育とは考えていない。では資格以外にどのような動機付けが考えられるであろうか。簿記に興味・関心を抱かせるにはどのような授業デザインが考えられるであろうか。これから急速に変化する社会に対応するには、アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業や構成主義による教育も真剣に考えるべきなのであろうか。しかし、簿記教育を経済社会に必要な教養教育と考えるなら、本質主義教育の側面も捨てがたい。それらのブレンド教育が理想であるが、どういうブレンドがよいのか、講義を行うにあたって、悩む日が続いている。

## 《賛助会員（出版社）の活動と会員の著書紹介》

賛助会員の活動の紹介として、今回は、中央経済社（2014年5月から2016年5月まで）、森山書店（2014年1月から2016年5月まで）、税務経理協会（同）、白桃書房（同）を取り上げます。著作の執筆者は、日本簿記学会の会員であることを条件としておりますので、所属していない執筆者は外しております。

### 【中央経済社】

2014年5月以降刊行

#### ○全経簿記上級 商業簿記・会計学テキスト〔第5版〕

定価：3,024円（税込）B5判/328頁 2015年7月  
ISBN: 978-4502155413  
賛助会員：公益社団法人全国経理教育協会

#### ○税理士試験簿記論・財務諸表論総合問題なるほど解法ナビ

定価：2,376円（税込）B5判/208頁 2015年5月  
ISBN：978-4502146213  
執筆会員：加藤大吾

#### ○スタディガイド基本簿記〔第2版〕

定価：2,376円（税込）A5判/208頁 2015年3月  
ISBN: 978-4502140112  
執筆会員：佐藤文雄 菱山 淳 柳 裕治 山内 暁

#### ○入門企業簿記

拓殖大学会計教育研究会【編集】

定価：3,024円（税込）B5判/244頁 2015年2月  
ISBN: 978-4502130915  
執筆会員：鈴木昭一

### 【税務経理協会】

2014年1月以降刊行

#### ○簿記システム論〔三訂版〕

定価：3,132円（税込）A5判/208頁 2016年4月  
ISBN: 978-4419063627  
執筆会員：杉山晶子 吉岡正道

#### ○簿記学

定価：3,132円（税込）B5判/361頁 2016年3月  
ISBN: 978-4419063252  
執筆会員：梶原太一 原田保秀 松脇昌美 矢部孝太郎 吉岡一郎

#### ○複式簿記のサイエンス〔増補改訂版〕：簿記とは何であり、何でありうるか

定価：2,268円（税込）A5判/285頁 2015年12月  
ISBN: 978-4419063122  
執筆会員：石川純治

#### ○工業簿記・原価計算演習〔第4版〕

定価：3,132円（税込）B5判/296頁 2015年4月  
ISBN: 978-4419062552  
執筆会員：諸藤裕美

#### ○簿記原理〔第3版〕

定価：2,592円（税込）B5判/256頁 2015年3月  
ISBN: 978-4419061548  
執筆会員：城冬彦

### 【森山書店】

2014年1月以降刊行

#### ○エッセンス簿記会計

定価：3,024円（税込）A5判/390頁 2016年4月  
ISBN: 978-4839421601  
執筆会員：石原裕也 大野智弘 金子善行 佐久間義浩  
白木俊彦 竹口圭輔 千葉啓司 徳山英邦  
中村亮介 西山一弘 新田忠誓 船越洋之  
古庄 修 松本ゆかり 吉田智也 李 精

#### ○江戸時代帳合法成立史の研究：和式会計のルーツを探求する

定価：5,400円（税込）A5判/325頁 2014年6月  
ISBN: 978-4839421434  
執筆会員：田中孝治

### 【白桃書房】

2014年1月以降刊行

#### ○会计学・簿記入門〔第12版〕：(韓国語財務諸表・中国語財務諸表付)

定価：3,024円（税込）A5判/344頁 2014年4月  
ISBN: 978-4561352051  
執筆会員：石原裕也 金子善行 佐々木隆志 神納樹史  
中村亮介 西館 司 西山一弘 新田忠誓  
松下真也 溝上達也 吉田智也 西嶋優子

(注) 会員の氏名掲載順序は「日本簿記学会名簿」に基づき、五十音、正会員、準会員順になっております。

発行所  
編集兼 日本簿記学会事務局  
発行人

事務連絡所

〒101-0021 東京都千代田区外神田 5-1-15  
株式会社白桃書房  
e-mail boki@hakutou.co.jp  
URL <http://www.hakutou.co.jp/boki/>